

いう

わたし まいにちつか まるまるせん とつきゅうでんしゃ の ごひゃくえん とくべつ
私が毎日使っている〇〇線の特急電車に乗るには、五百円の特別

りょうきん はら たか む あつ がまん
料金を払わなければならない。ちょっと高いけれども、蒸し暑くて我慢で

ひ ざんぎょう つか ひ いっぱいの
きない日や残業でとても疲れた日など、「コーヒー一杯飲んだつもりで」と

かんが の
考えて、つい乗ってしまう。

でんしゃ りょう き でんしゃ
この電車を利用して、いつも気にかかることがある。「この電車は、

していせき とつきゅうけん も かた の くだ
すべて指定席です。特急券をお持ちでない方はお乗りにならないで下さい」

なんど く かえ けいご つか かた まちが
と何度も繰り返されるアナウンスである。敬語の使い方が間違っているので

い かた しつれい ぶんぼう ただ こえ やさ わたし
も、言い方が失礼なのでもない。文法も正しいし、声も優しい。けれども私

の けん か めいれい かん
には、「乗せてあげるから券を買ってきなさい」と命令されているような感じ

の まえ とつきゅうけん もと くだ い
がする。「お乗りになる前に特急券をお求め下さい」とも言えないだろ

おも
うかと思ってしまう。

わたし こども はな ことば のこ た
いつかどこかで、「私が子供たちに話す言葉は『残さないように食べなさ

い』とか、『そんないたずらやめなさい』とか、『テレビはもう少し離れて見な

いちにちじゅう めいれい きんし ぶん わか かあ
さい』と、一日中、命令や禁止の文ばかりだ」という若いお母さんからの

どうしょ め おも たし ことば かたち
投書を目にして、「そうだろうか」と思ったことがある。確かに言葉の形は

かあ めいれいぶん た おお
そうだが、お母さんの命令文からは「たくさん食べて大きくなるんですよ」

ちか み め わる こども おも
「近くでテレビを見ていると目が悪くなりますよ」という子供への思いやり
つた
が伝わる。

やさ い き い
優しく言ったつもりでも「～しなさい」と聞こえ、「～しなさい」と言って
やさ つた がっこう かんじ ぶんぽう ことば い み おし
も優しさが伝わる。学校では、漢字や文法、言葉の意味などは教えてもらう
ことば つか かた つた かた おし あいて かんが ことば
が、言葉の使い方や伝わり方は教えてくれない。相手のことを考えた言葉
つか かた とつきゅうでんしゃ の かんが
とその使い方。特急電車に乗りながら、いつも考えさせられる。